



→ 若さの勝利



とんぼ祭

第20回 とんぼ祭
記念講演会



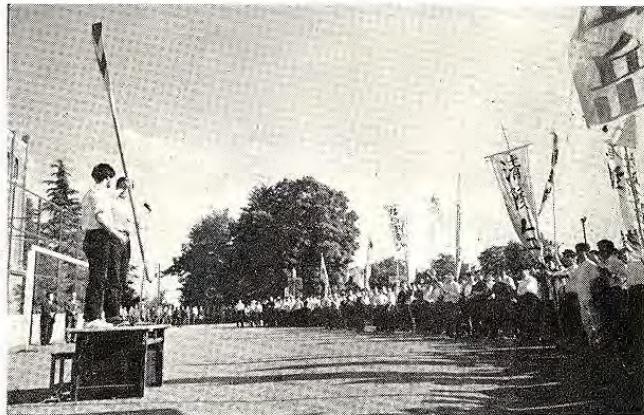
→ 「あたしの身になつて頂戴…」
演劇公演「みんなが子」



交歓会

そろそろ眠気が……
徒歩隊

→ やるぞ!!





校友第十七号（通巻百七号）目次

表紙.....米倉京子
写真提供.....望月先生・新聞部
カット.....福島雄二・その他

はなび.....井沢泉(2)
あみ.....赤羽誠(5)

編纂委員会(36)

あゆみ.....論壇
深志のクラブ活動.....東宗謙(38)

高校生活雑感.....山中照栄(41)
創造と批判をして遊び.....松崎充博(47)

さかさぎり.....阿久津美穂子(48)
隨想.....宮坂学(50)

日記.....水上頼隆(52)
紀行.....中川俊夫(55)

南紀州の旅.....内木元義(59)
北陸夜行走.....高相民夫(93)

委員会だより.....(115)

詩

詩七篇.....輪湖豊(84)

そぼ降る雨のたそがれに.....土橋俊二(90)

詩二篇.....平林昌広(91)

詩四篇.....高相民夫(93)

『△先生△』
思い出のセイちゃん.....青山誠(23)
女子学生のみなさんへ

『△先生△』
未来を創造してください

寄稿.....影山裕子(26)

国際政治の旅路.....中島嶺雄(28)

隨想

寄稿

とんぼ祭、交歓会

—とんぼ祭記念講演—
若いころ

島崎 敏樹(8)

—交歓会弁論会—
深志というもの

清野 吉光(64)

『思考の原点』について
とんぼ祭への提言

赤堀 正明(68)

新しき姿を求めて

井沢 泉(71)

思うこと

小原 順(81)

峠の茶屋

編纂委員会(96)

特集—西穂レポート—

亡き友へ

(143)

西穂高岳独標における遭難報告

鈴木 重春(148)

合同協議会回顧

学芸部
運動部

(129)

埼玉国体にて

萩原 清(141)

あやつり人形

稗田阿礼の物語

望月 雅文(101)

創ほたるは

C (108)

編集後記

(17)

は

な

び

生徒会長 井 沢 泉

西穂遭難で十一名の友を失いました。今更ながら人知の及ばない自然の脅威にただ驚くばかりです。幾人か知っている人もいました。でも初めて聞いて、それが最後という人もいました。しかし恐らく私の生涯にとって掛けがえのない記憶？体験？実感？としての十一人となるでしょう。ここで再び生きていることを考えさせられるのです。気障でしょ？私達、否私にとってやはりまだ死は観念なのです。こういったことを考えていくとき、次のような童話を読みました。

星の王子さま——あのサンデグジュベリの星の王子さまです——には妹がいました。

王女さまは、やはり自分の星を出でいろんな星を旅して歩き、いろんなことに出会いました。そして地球へやって来ました。

ここでもいろんなことに出会いましたが、たったひとつ楽しい経験をしました。王女さまは、そのことをだれかに話したくてたまらない気持ちでいました。そんなとき、ぼくに会ったのです。

ぼくは星の王子さまのことは本で読んで知っていました。そして、星の王子さまにもきっと妹がいるんだと思つてしましました。ぼくには、小さい妹がいるからなのです。

ぼくは、とっさに思いました。あつ星の王女さままだなつて。やはりそうだったのです。

“私、地球へ来て珍しいものを見つけたのよ、何ていうのかしら？ほんのちょっとのあいだだけ、きれいに光を放つの！”

とすぐに話し始めました。そして話を聞いていくうちにそれは線香花火だということがわかったので、そのことを教えてやりました。一番安いこともつけ加えました。

“そう、でも、きれいだったわ！あいうのを美しいっていうのかしら……まっくらな中でひとつだけ輝いて……この星へ来てからいろいろのものを見たわ、でもみんなこの星にもあったことなのよ……この星のひとつもしてないってことに気づいたの、だから私は寂しかった……でも線香花火を見たときは、思わず立ち止まって、今までのことはすっかり忘れてしまったのよ。ほんの一瞬だったわ、でも楽しかったわ、私の星に咲いている花みたいだったの、花火って生きているのね”と楽しそうに話すのです。王女さまの目の奥には、花が一本咲いているようでした。それほど王女さまの日はきれいだったのです。

すると、王女さまはそっと右手をぼくの前に出しました。ぼくは驚いて見ると、ちっちゃな手に、またちっちゃな穴があいているのです。王女さまは言いました。

“おどろかないで！私、ちっとも悲しくないの、これにはわけがあるの、聞いて下さい。線香花火を見ていたときのことなの、私は花火のこと、胸がいっぱい、じっと見つめていたの、そのとき、うしろから、だれか近づいてきました。とっさに思いました。花火をとられはしないかって。そんなことを考えたら、思わず、その花火を手でつかんでしまったの、もう私のものだ、だれにもとられないって思つたわ。ちっとも熱くなかったの、何という楽しさだったんでしょう。これは私の楽しい思い出なの。”

と、また手を私の前に出すのです。そう言えばちっとも痛そうではありません。ぼくは大切なことを聞いたような気がしました。そしてマッチ売りの少女が、一本のマッチをすって、暖かい楽しい世界へ入つていったという話を思い浮かべました。王女さまに話してやりました。すると、王女さまは言いました。

“地球つて、すばらしいところなのね、きっとマッチ売りの少女は楽しかったんだでしょうね、私、嬉しいわ！”

と、そのときです。突然、ぼくと王女さまと話している真上を、打ち上げ花火が上がったのです。王女さまも、ぼくも、何もかも、そこら中、たった今までまつ暗だったところを、王女さまの線香花火だけが光っているところを、王女さまの一本の花が咲いているところを、みんな照らしましたのです。ほんの一瞬です。

王女さまはもちろん初めてです。黙つて目をつむっていました。王女さまの手を見ると、不思議なことに、さつきのちっちやな穴はありません。ぼくは王女さまが何を考えているか聞きたかったのですが、やはり聞きませんでした。

王女さまは話したくなかったのです。いいえ、王女さまはそんなことは考えていなかつたのです。

ぼくは心中で思いました。そうか、王女さまの心に、さっきの打ち上げ花火が光つたと同時に、前よりも、もっと大きなか穴がどかんとあいているんだって。ねつ、王女さま、そうでしょう。

王女さまは、ひとりごとのように言いました。

「わたしの星から、この地球も他の星と同じように光つて見えるわ、でもそれは、線香花火が光っているからじゃないのね、打ち上げ花火が光つていているからなのね」

不見意童話集より

この童話で言つてることとは、何なのでしょう。花火を線香花火と打ち上げ花火とに分けています。単なる大きさの違いでしょうか。私は単に大きさの違いや、ニュアンスの違いだけを感じません。線香花火にあれほど感激した王女さまが、打ち上げ花火を見たとき何を考え、何を感じたかが問題なのです。私はこの花火とは極めて象徴的に使われていると考えます。花火が、ときに恋愛になり、一生の仕事になり、ひとによつてそれそれ異なるのです。一生がかることもあるかも知れませんし、一日の中で、あるいはひとつのことをするときにもあるかも知れないのです。ここに大きな問題が投げかけられていると私は思います。それは私達が生きているが故に出き得る特權だと思うのです。そして、美しく花開いてその瞬間にあとかたもなく消えてしまうことに象徴された花火が、もうひとつ問題を投げかけるのです。悲しみの気持ちさえ、花火、とくに打ち上げ花火から受けるので。しかし私はこういつた悲しみがないとしたら、その方がもつともっと悲しいと思ひさえするのです。それは、線香花火の場合に外なりません。この花火が、大きな夢になるか、悲しい物語になるか、それはわかりません。しかし、喜びの気持ちと悲しみの気

持ちと、ふたつは切り離せないものだと思います。

この花火を求めるとする気持ちは、ロマンチストだけが持つ気持ちではないと思います。花火は、は、な、び、充分に説明できたとは言えません。でも、それは目には見えませんが生きているのです。では頑張つて下さい。

こ の 人 生

学校長 赤 羽 誠

私は十日ほど前、「親子鼓」という題名のテレビを見た。連続番組「ある人生」のうちの一つである。それは歌舞伎の離方の一流派、田中流十一代家元、田中伝左衛門が、その娘令子におのが芸道を伝え、家元を継がせんがため、激しい稽古をつけている場面をうつしていった。

対座する父は六十歳、娘は高校二年生である。鼓一筋に五十年を生きてきた父の底力のこもる気合、はり扇の音に応じて、その娘は、寸分のゆるみなく鼓を打ちこんでゆく。「破」から「急」にかかるたと思うや、間髪を入れず、「気を抜く」という叱咤が飛ぶ。すると娘はまた曲のはじめにもどって、打ち直す。不十分な曖昧な「手」がほんのわずかであっても、その部分だけの訂正ではすまされないのである。芸は終始、隙のない力と高い品格を保つてなければならない。舞台にたつ時の覚悟と同じだ。稽古で楽をしてはいけない。こう父は叫ぶ。何回も「はじめから」という稽古がくりかえされ、両者とも極度に緊張した場面が続く。正座した姿勢は崩れない。もはや、親と子、師弟としての対座ではなくて、両者が一体となつて、無用なものをすつかり捨てさつた。何か激しい力いっぱいのものが

響きあい、ぶつかりあっている。そのなかの私は、鼓の迫力に圧倒される「心」の外には何一つなかった。

こうして娘は、父の芸の道を、その伝統を文字どおり体得して、やがて本当に、自分の生み出したい「音」を創造してゆくにちがいない。道の要求するところは、あくまで厳しく高く、しかも、囃方の地位は低く、かけの存在なのだ。

中学時代、彼女はバレーボールの選手であり、その一流になる事に憧れていた。けれども、この家元では、長男が旧制高校、大学を経て技術家になってしまった。何人かの子供のうち、家の芸を継ぐ素質をもち、その可能性のある者は、彼女をおいて他はない。父は敢えて、鼓の生命ともいうべき指のために、このスポーツをやめさせた。この事で泣いた彼女が三年たった今は、後継者としての自覚を抱いて、父の期待にこたえる『音』のだせない事に涙を流すまでになった。

画面はまた、この家の夜のひとときの囃樂を描く。父は旧制高校の寮歌と各高校の特徴を娘たちに語ってきかせる。その顔には、かつてある別な夢を追い、迷った多感なりし若き日の片鱗も窺えるが、もはや名人といわれた先代の後継者となりきつて、今、娘に同じ苦しみを与えるようとする父親の覚悟のほどを思われる。親子のはげしい稽古の夜が過ぎて、翌朝、娘の挨拶をうけて、その晴れやかな瞳にほっとする父親の姿もうしだ出される。

私はいつしか、論語の一学時習之」という教えの「習」を思いだしていた。

このテレビは再放送であったので、ある雑誌に次のような批評がでていた。「これを観た女子高校生三名が、花束をもって、歌舞伎座の樂屋へ訪ねてきた。令子に逢って、開口一番の質問が、あんなに叱られて父親に『反発を感じないか』ということだった。すると令子は、おおらかな微笑を浮かべながら報告する。私はなるほどと膝をうつた。高校生の質問が、いかにも当世ふうであり、ますそれを見ねる。そのように尋ねるしか術のない彼女たちの日常の貧しさと不幸が滲みでているからであり、同じ世代でありながら、一芸の家元として父親を尊敬しながら生きている令子の生甲斐を逆写ししているからであつた。更に一芸によって結びつき、その伝承と繼承をめぐって、親子互いの烈しい意欲の有無が父の叱正を尊敬と反発とにわけるのではないか。現代は親子間において、共通する何ものかの授受をめぐって、緊張する瞬間とか、けじめをつけることなどが失われている。」とつけ加えている。

この若い家元の後継者は、この三月高校を卒業して、今は大学の一年生、あの厳しい稽古と学校の勉学で、就寝はいつも午前一時になるという。私は、彼女がこれから十年、二十年先の時代をどのように生きぬくか、見守りたい感動を覚えた。

この人生は、芸道の伝承という特殊な社会のことであり、これによつてすべての生き方を律するということは、妥当でないであろう。しかし、我々はこの道のなかから、最も大切な教えのいくつかを学ぶことができる。

もう雪の来た穂高岳にむかって、私は自分のことほのむなしさを、今更のように痛感している。この悲しみに、我々と君たちがどのように堪えて、その中からどのようなものを生みだしてゆくかが、もう一つの我々の大きな重みをもつた課題なのだが、この事について

は、後日の追悼文集、調査記録に記したい。

あゆみ



6月2日	遠足	一位 三組	10日	十一名の友を失う
	一年生上聖高原	二位 四組	2日	合唱式 弁論会 合唱発表会 先輩の話 座談会
	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 五組	3日	展覧会
	三年生丁戸隠に集中	四位 七組	4日	哲研討論会
6日	対清陵高校交歓会	五位 九組	5日	演劇公演 座談会
8日	二年生クラスマッチ	六位 七組	6日	大掃除 島崎敏樹氏講演「若い心」
		七位 五組	7日	詩吟発表会 音楽会 座談会
		八位 九組	8日	祭式
		九位 七組	9日	大岩洋介 講演会
7月8日	全校クラスマッチ	三位 五組	10日	合同学校舞
		四位 三組		
7月15日	全級生徒会役員会	五位 三組		
7月22日	全校クラスマッチ	六位 三組		
8月1日	二学年西穂集団登山隊落雷に遭遇	七位 三組		
8月22日	夏休み始まる	八位 三組		
9月1日	2013年度生徒会役員会	九位 三組		
9月10日	遠足	三位 三組		
9月11日	一年生上聖高原	四位 三組		
9月12日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
9月13日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
9月14日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
9月15日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
9月16日	全校クラスマッチ	九位 三組		
9月17日	二年生上聖高原	三位 三組		
9月18日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
9月19日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
9月20日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
9月21日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
9月22日	全校クラスマッチ	八位 三組		
9月23日	二年生上聖高原	九位 三組		
9月24日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
9月25日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
9月26日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
9月27日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
9月28日	全校クラスマッチ	七位 三組		
9月29日	二年生上聖高原	八位 三組		
9月30日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
10月1日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
10月2日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
10月3日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
10月4日	全校クラスマッチ	六位 三組		
10月5日	二年生上聖高原	七位 三組		
10月6日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
10月7日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
10月8日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
10月9日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
10月10日	全校クラスマッチ	五位 三組		
10月11日	二年生上聖高原	六位 三組		
10月12日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
10月13日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
10月14日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
10月15日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
10月16日	全校クラスマッチ	四位 三組		
10月17日	二年生上聖高原	五位 三組		
10月18日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
10月19日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
10月20日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
10月21日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
10月22日	全校クラスマッチ	三位 三組		
10月23日	二年生上聖高原	四位 三組		
10月24日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
10月25日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
10月26日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
10月27日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
10月28日	全校クラスマッチ	九位 三組		
10月29日	二年生上聖高原	三位 三組		
10月30日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
10月31日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
11月1日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
11月2日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
11月3日	全校クラスマッチ	八位 三組		
11月4日	二年生上聖高原	九位 三組		
11月5日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
11月6日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
11月7日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
11月8日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
11月9日	全校クラスマッチ	七位 三組		
11月10日	二年生上聖高原	八位 三組		
11月11日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
11月12日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
11月13日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
11月14日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
11月15日	全校クラスマッチ	六位 三組		
11月16日	二年生上聖高原	七位 三組		
11月17日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
11月18日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
11月19日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
11月20日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
11月21日	全校クラスマッチ	五位 三組		
11月22日	二年生上聖高原	六位 三組		
11月23日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
11月24日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
11月25日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
11月26日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
11月27日	全校クラスマッチ	四位 三組		
11月28日	二年生上聖高原	五位 三組		
11月29日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
11月30日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
11月31日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
12月1日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
12月2日	全校クラスマッチ	三位 三組		
12月3日	二年生上聖高原	四位 三組		
12月4日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
12月5日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
12月6日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
12月7日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
12月8日	全校クラスマッチ	九位 三組		
12月9日	二年生上聖高原	三位 三組		
12月10日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
12月11日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
12月12日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
12月13日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
12月14日	全校クラスマッチ	八位 三組		
12月15日	二年生上聖高原	九位 三組		
12月16日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
12月17日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
12月18日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
12月19日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
12月20日	全校クラスマッチ	七位 三組		
12月21日	二年生上聖高原	八位 三組		
12月22日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
12月23日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
12月24日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
12月25日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
12月26日	全校クラスマッチ	六位 三組		
12月27日	二年生上聖高原	七位 三組		
12月28日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
12月29日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
12月30日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
12月31日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
1月1日	全校クラスマッチ	五位 三組		
1月2日	二年生上聖高原	六位 三組		
1月3日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
1月4日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
1月5日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
1月6日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
1月7日	全校クラスマッチ	四位 三組		
1月8日	二年生上聖高原	五位 三組		
1月9日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
1月10日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
1月11日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
1月12日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
1月13日	全校クラスマッチ	三位 三組		
1月14日	二年生上聖高原	四位 三組		
1月15日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
1月16日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
1月17日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
1月18日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
1月19日	全校クラスマッチ	九位 三組		
1月20日	二年生上聖高原	三位 三組		
1月21日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
1月22日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
1月23日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
1月24日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
1月25日	全校クラスマッチ	八位 三組		
1月26日	二年生上聖高原	九位 三組		
1月27日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
1月28日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
1月29日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
1月30日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
1月31日	全校クラスマッチ	七位 三組		
2月1日	二年生上聖高原	八位 三組		
2月2日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
2月3日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
2月4日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
2月5日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
2月6日	全校クラスマッチ	六位 三組		
2月7日	二年生上聖高原	七位 三組		
2月8日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
2月9日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
2月10日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
2月11日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
2月12日	全校クラスマッチ	五位 三組		
2月13日	二年生上聖高原	六位 三組		
2月14日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
2月15日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
2月16日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
2月17日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
2月18日	全校クラスマッチ	四位 三組		
2月19日	二年生上聖高原	五位 三組		
2月20日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
2月21日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
2月22日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
2月23日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
2月24日	全校クラスマッチ	三位 三組		
2月25日	二年生上聖高原	四位 三組		
2月26日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
2月27日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
2月28日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
2月29日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
2月30日	全校クラスマッチ	九位 三組		
2月31日	二年生上聖高原	三位 三組		
3月1日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
3月2日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
3月3日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
3月4日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
3月5日	全校クラスマッチ	八位 三組		
3月6日	二年生上聖高原	九位 三組		
3月7日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
3月8日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
3月9日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
3月10日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
3月11日	全校クラスマッチ	七位 三組		
3月12日	二年生上聖高原	八位 三組		
3月13日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
3月14日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
3月15日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
3月16日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
3月17日	全校クラスマッチ	六位 三組		
3月18日	二年生上聖高原	七位 三組		
3月19日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
3月20日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
3月21日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
3月22日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
3月23日	全校クラスマッチ	五位 三組		
3月24日	二年生上聖高原	六位 三組		
3月25日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
3月26日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
3月27日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
3月28日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
3月29日	全校クラスマッチ	四位 三組		
3月30日	二年生上聖高原	五位 三組		
3月31日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
4月1日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
4月2日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
4月3日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
4月4日	全校クラスマッチ	三位 三組		
4月5日	二年生上聖高原	四位 三組		
4月6日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		
4月7日	三年生丁戸隠に集中	六位 三組		
4月8日	対清陵高校交歓会	七位 三組		
4月9日	二年生クラスマッチ	八位 三組		
4月10日	全校クラスマッチ	九位 三組		
4月11日	二年生上聖高原	三位 三組		
4月12日	二年生一霧ヶ峰に集中	四位 三組		
4月13日	三年生丁戸隠に集中	五位 三組		
4月14日	対清陵高校交歓会	六位 三組		
4月15日	二年生クラスマッチ	七位 三組		
4月16日	全校クラスマッチ	八位 三組		
4月17日	二年生上聖高原	九位 三組		
4月18日	二年生一霧ヶ峰に集中	三位 三組		
4月19日	三年生丁戸隠に集中	四位 三組		
4月20日	対清陵高校交歓会	五位 三組		
4月21日	二年生クラスマッチ	六位 三組		
4月22日	全校クラスマッチ	七位 三組		
4月23日	二年生上聖高原	八位 三組		
4月24日	二年生一霧ヶ峰に集中	九位 三組		
4月25日	三年生丁戸隠に集中	三位 三組		
4月26日	対清陵高校交歓会	四位 三組		
4月27日	二年生クラスマッチ	五位 三組		
4月28日	全校クラスマッチ	六位 三組		
4月29日	二年生上聖高原	七位 三組		
4月30日	二年生一霧ヶ峰に集中	八位 三組		
4月31日	三年生丁戸隠に集中	九位 三組		
5月1日	対清陵高校交歓会	三位 三組		
5月2日	二年生クラスマッチ	四位 三組		
5月3日	全校クラスマッチ	五位 三組		
5月4日	二年生上聖高原	六位 三組		
5月5日	二年生一霧ヶ峰に集中	七位 三組		
5月6日	三年生丁戸隠に集中	八位 三組		
5月7日	対清陵高校交歓会	九位 三組		
5月8日	二年生クラスマッチ	三位 三組		
5月9日	全校クラスマッチ	四位 三組		
5月10日	二年生上聖高原	五位 三組		
5月11日	二年生一霧ヶ峰に集中	六位 三組		
5月12日	三年生丁戸隠に集中	七位 三組		
5月13日	対清陵高校交歓会	八位 三組		
5月14日	二年生クラスマッチ	九位 三組		
5月15日	全校クラスマッチ	三位 三組		
5月16日	二年生上聖高原	四位 三組		
5月17日	二年生一霧ヶ峰に集中	五位 三組		